

開催年月日 平成27年1月7日(水)

質問者 公明党 吉井 透 委員
 答弁者 保健福祉部長 高田 久
 子ども未来推進局長 中川 淳二
 子ども未来推進局参事 京谷 栄一

質問内容	答弁内容
<p>一 第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」(素案)について</p> <p>8月の特別委員会で、第三期計画の子ども未来づくり北海道計画の策定にあたって、これまでの10年間の取り組みの総括を踏まえた上で、直面する人口減少問題等の課題に対して、少子化対策として何ができるのかを明確にする視点で質問をさせていただきました。その時、いただいた答弁を踏まえた上で、第三期計画の素案について、いくつか質問をさせていただきます。</p> <p>(一) 具体的な施策や目標について</p> <p>まず策定の趣旨として、「結婚から妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援を行うため、ライフステージに応じた、今後5年間の少子化対策の具体的な施策や目標を定める」としていますが、どのように定められたのか、まず伺いをします。</p> <p>(二) 計画のめざす姿について</p> <p>次に、計画のめざす姿として「安心して子どもを生き育てることができる環境」と「子どもが健やかに成長できる環境」の2つの環境づくりを進めるとあります。これまでの計画と比較して、どういう点が進んだのか具体的にお伺いをします。</p>	<p>【子ども未来推進局参事】</p> <p>施策や目標の設定についてでございますが、少子化の改善に向けましては、保健・医療・福祉にとどまらず、経済や雇用、地域振興、教育など様々な分野の取組を総合的かつ計画的に推進する必要があるため、第三期計画におきましては、北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例で定められた11本の基本的施策に基づきまして、「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」、「子育て・自立」の各ライフステージとそれを支えます「地域の環境づくり」ごとに出会いのサポートなどの結婚支援や周産期医療体制の整備、待機児童の解消等の子育て支援など、関連する施策を盛り込んだところでございます。</p> <p>また、法令などで定めることとされております保育所や認定こども園などの整備目標や家庭的養護の推進のための目標、さらには、第二期計画におきまして設定した道独自の項目などにつきまして、今後5年間の具体的な数値目標を設定しているところでございます。</p> <p>【子ども未来推進局参事】</p> <p>計画のめざす姿についてであります。本道の未来を担う子どもたちが、のびのびと心豊かに成長することは、道民全ての願いでありまして、道では、平成16年に制定いたしました条例の理念のもと、第一期、第二期計画を通じて、「安心して子どもを生き育てることができる環境」と「子どもが健やかに成長できる環境」の2つの環境づくりを目指し、待機児童の解消に向けた保育所の整備や児童虐待の防止など、各般の施策に取り組んできたところでございます。</p> <p>その結果、保育所や認定こども園などの子育て環境の整備や社会全体で子育てを応援する気運の醸成、さらには、児童虐待防止に向けた地域の体制整備などについて、一定の改善が図られてきており、第三期計画におきましては、これらの推進状況などを踏まえた上で、各施策や事業を充実し、目標とする事業量の水準を、さらに高めることなどにより、計画のめざす2つの環境づくりを一層進めていく考えでございます。</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>(三) 少子化関連施策などについて 次に少子化関連施策などについてお聞きします。 計画の内容として、少子化対策が経済・雇用・地域医療・福祉・地域振興・教育など様々な分野と深く関わっているとして、条例による11本の基本的施策を中心に「結婚」「妊娠・出産」「子育て」「子育て・自立」の4つのライフステージを設定するというふうにありますけれど、それぞれのステージでの少子化関連施策や事業は、どのようになっているのかお伺いをします。</p>	<p>【子ども未来推進局参事】 ライフステージ毎の主な施策についてであります が、第三期計画においては、結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージごとに、切れ目のない支援を行うこととしておりまして、「結婚」のステージにおきましては、結婚を望む方々の希望が実現するよう婚活セミナーの開催などによる出会いへのサポートや、フォーラムや出前講座の実施により、次の世代の親となる若い方々に、将来の夢や希望をもっていただくとともに、社会全体で結婚を応援する気運の醸成を図ることとしたところでございます。 また、「妊娠・出産」のステージにおきましては、妊娠や出産期における不安や悩みの軽減を図るため、正しい知識の普及啓発や相談体制の整備のほか、不妊治療の支援などに取り組むこととしておりまして、「子育て」のステージにおきましては、今年4月からスタートする予定の「子ども・子育て支援新制度」の着実な推進による待機児童の解消や、雇用環境の整備などを図り、「子育て・自立」のステージにおきましては、子どもたちの健やかな成長や自立に向けまして、教育環境や安定した就業に向けた支援体制の整備などにそれぞれ取り組むこととしております。なお、これらの4つのライフ・ステージを支える「地域の環境づくり」におきましては、地域ぐるみでの子育て支援活動の促進や「北海道赤ちゃんのほっとステーション」の登録促進など、社会全体で子どもを守り育てていくための基盤づくりを進めていくこととしております。</p>
<p>(四) 官民一体となった取組等について では、官民一体となった取組について、次にお聞きをします。 今の4つのライフステージの施策や事業を総動員して、官民一体となった取組を総合的かつ計画的に進めるとしておりますけれども、内容を具体的に伺います。</p>	<p>【子ども未来推進局参事】 官民一体となった取組などについてであります が、少子化問題は、個人の価値観や意識の変化、厳しい経済・雇用環境などの様々な要因が複雑に重なり合って生じるものでありまして、その解決に向けましては、行政のみならず、道民の皆様方をはじめ、関係団体や企業など様々な分野の方が、ともに共通認識を有しながら、連携して取り組んでいくことが不可欠であると考えております。 このため、第三期計画におきましては、総合情報ポータルサイトによる各種の情報提供やフォーラムの開催などにより、少子化問題やその対策などに関する道民の方々の理解を促し、気運の醸成を図るほか、地域におきまして様々な取組を行っている子育て支援団体等のネットワークを構築することなどを通じて、官民はもとより、地域と一体となった少子化対策の総合的かつ計画的な推進が図られるよう、その体制整備や環境づくりを着実に進めていく考えでございます。</p>
<p>(五) 重点施策目標について 次に重点施策目標についてお聞きします。第三期計画では、3つの重点施策目標が定められております。一つは未婚化・晩婚化への対応であり、もう一つは住み慣れた地域で安心して子育てできる環境、いわゆる待機児童ゼロの達成であり、最後の一つは地域全体で子どもの安全・安心をしっかりと保障できる環境づくりとなっています。それぞれ目標達成に</p>	<p>【子ども未来推進局参事】 重点施策目標についてであります が、まず、「未婚化・晩婚化への対応」としては、結婚や出産を望む方々が、希望する時期に、その望みがかなえられる環境づくりを進めるため、セミナーの開催などを通じた出会いのサポートや、大学生を対象といたしました出前講座の開催などにより、家庭を持つことの素晴らしさを伝え、社会全体で結婚を応援する気</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>向けてどのような施策を展開するのか具体的にお伺いをします。</p> <p>(六) せわずき・せわやき隊などについて 次に、せわずき・せわやき隊などについてお伺いします。第二期の評価では、せわずき・せわやき隊の組織化などの目標達成が難しいという道の受け止めと承知をしておりますが、これらの効果や課題の点検検証が第三期計画でどう反映されたのかお伺いをします。</p> <p>もう一度、しっかり取り組まれるということだとお伺いしました。</p> <p>(七) 計画内容の検討について 計画内容の検討についてですけれども、本道の出生数は、2005年に41,420人が2011年に4万人を割り、2013年に38,190人と3,230人減少したと承知をしております。道は、こうしたことを踏まえて評価を取りまとめ、新たな取組や事業実施のあり方など、幅広く計画内容の検討を進めているとしておりますが、第三期計画で検討結果がどのように反映されたのかお伺いをします。</p>	<p>運の醸成を図ることとしているところでございます。</p> <p>次に「子育て支援の充実」では、保育所や認定こども園、幼稚園などの計画的な整備や保育士などの人材の確保と資質の向上に加えまして、放課後児童クラブの体制整備などを進めることとしております。</p> <p>「子どもの安全・安心の確保」では、家庭的養護の推進を図るほか、児童虐待を未然に防止するため、地域における見守り機能の強化に向けましたネットワークづくりなどを進め、道民の宝である子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えていくこととしておりまして、こうした3つの重点施策目標に掲げる各般の取組を通じまして、少子化の改善に向けた環境づくりを着実に推進していくこととしているところであります。</p> <p>【子ども未来推進局参事】 せわずき・せわやき隊の組織化などについてありますが、第三期計画の策定にあたりましては、第二期計画における各般の施策につきまして、その進捗状況や事業実績などに基づき、可能な限り事業効果などの客観的な分析に努め、課題を洗い出すなどの検証を進めてきたところでございます。</p> <p>こうした中で、せわずき・せわやき隊などの組織化や病児・病後児保育の実施など、目標に対する遅れがみられる一部の事業につきましても、その原因や課題などについて点検検証を行ったところでありまして、今後、その点検結果を踏まえ、制度や運用方法の改善、市町村などとの連携強化による実施体制の充実など、より事業効果が発揮できるよう、所要の見直しを行うほか、国に対し各種制度の拡充や改善などを提案していくこととしているところでございます。</p> <p>【子ども未来推進局参事】 評価結果の計画への反映についてであります。道といたしましては、これまでも、少子化対策の着実な推進に努めてきたところでありますが、未婚化・晩婚化や核家族化の進行に加え、仕事と家庭の両立のための雇用環境の整備の遅れや不安定な経済雇用環境など、本道を取り巻く様々な要因によりまして、依然として少子化の流れを変えるに至っていない状況でございます。</p> <p>このため、第三期計画の策定にあたりましては、これまでの取組の点検・検証結果などを踏まえまして、出生率や出生数の改善に向け、新たに結婚支援など「未婚化・晩婚化への対応」に重点的に取り組むこととしたほか、国の制度改正や新たな少子化対策を有効に活用しながら、各ライフステージごとに、今後5年間の少子化対策の具体的な施策や目標を盛り込みまして、わかりやすい計画内容に改めるなどの見直しを行ったところでございます。</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>(八) 地域における取組方策の検討について 地域における取組方策の検討について、次にお聞きをします。道が全庁挙げて取り組むとしている人口減少問題に対して、「持続可能な地域デザイン」検討ワーキングチームに子ども未来推進局も参画して、第三期計画との一体的な検討を進めることとしています。また、地域ごとの対策として振興局ごとに設置する「少子化対策圏域協議会」の場を有効活用して、効果的な取組方策の検討を進めるとしておりますが、具体的に第三期計画にどのように反映されているのかお伺いをします。</p>	<p>【子ども未来推進局参事】 地域における取組などについてありますが、広域分散などの特性を持つ本道におきましては、地域ごとに課題や環境が大きく異なっておりまして、少子化対策の推進にあたりましては、地域の実態を踏まえた対策を講じていくことが必要でありますことから、第三期計画の策定におきましては、出生率が比較的高い町村の要因分析などにも取り組んできたところでございます。 道といたしましては、こうした検討結果なども踏まえまして、第三期計画においては、振興局ごとに設置しております少子化対策圏域協議会などを活用し、振興局が中心となりまして、道内への定住や移住促進に向けた支援など、地域の実情に応じたきめ細かな施策や事業を検討し、その着実な推進を図りながら、市町村とともに、地域の少子化対策に取り組んでまいりたいと考えてございます。</p>
<p>(九) 総合ポータルサイトについて 総合ポータルサイトについて伺います。第三期計画では、総合ポータルサイトの運用について示されておりますが、その内容について、これまでの福祉の分野にとどまらず、雇用や住宅など、様々な分野の情報を幅広く提供する必要があると考えておりますが、どのようなサイトを構築されようとしているのかお伺いをします。</p> <p>まずは結婚のサイトを最初に開設されたとのことでありまして、ポータルサイトに可能な限り情報を盛り込むということは、非常に大事なことでありまして、よろしくお伺いをいたします。</p>	<p>【子ども未来推進局参事】 総合情報ポータルサイトについてありますが、道といたしましては、結婚を望む方や子育て中の方々に対し、結婚や育児などに関する的確な情報を提供し、子育てなどへの正しい理解を促すことは大変重要であると考えており、これまでもホームページやフォーラムの開催などを通じて、情報提供などに努めてきたところでございます。 こうした中、ホームページをよりわかりやすく、活用していただくために、昨年10月に結婚、妊娠・出産、育児に関する総合情報ポータルサイト「ハグクム」を新たに開設し、今後も逐次メニューを追加していくこととしております。 ただいま、ご提言のありました雇用や住宅などの分野における少子化対策に関連する情報につきましても、可能な限り掲載してまいりたいと考えているところでございます。</p>
<p>(十) 知恵等の結集について 次に、第三期計画の策定にあたって、少子化の改善につながる効果的な計画づくりについて、道は「様々な分野の方々からの知恵やアイデアを結集し検討を進める」などとしておりますけれども、これが素案にはどのように盛り込まれたのか、今後の原案にはどう盛り込んでいくのかをお伺いをします。</p>	<p>【子ども未来推進局長】 各界各層からの意見の反映についてでございますが、道といたしましては、少子化対策を推進していく上で、庁内はもとより、道民の皆様方の理解と協力が不可欠であり、計画の策定段階から、より多くの方々に参加をしていただき、様々な知恵やアイデアを結集することが重要であると認識をしております。このため、第三期計画の策定にあたりましては、これまで、北海道子どもの未来づくり審議会からは、「重点的に取り組む事項の明示」や「道民にわかりやすい計画づくり」などについて、また、道内の高校生や中学生で構成をされます当審議会の子ども部会からは、結婚支援の充実の必要性などのご意見を頂いておりまして、これらの意見を十分踏まえ、素案を策定してきたところでございます。 今後は、先般お示しをいたしました素案をもとに、道</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>道民から幅広く意見を伺うということで、よろしくお願いいたします。</p> <p>(十一) 決意について 最後に、第三期計画の策定に当たっての決意をあらためてお伺いします。</p> <p>部長からご答弁をいただきましたが、この第三期計画で結婚の支援まで対応を広げられたということは評価をさせていただきたいというふうに思っておりますが、少子化対策は人口減少問題につながる大きなテーマだと思います。8月の特別委員会でも申し上げましたが、長年、少子化対策に取り組んできた保健福祉部は、地域デザインのワーキングチーム、また地域ごとの協議会をリードしていく大事な役割があると思います。雇用や住宅を含め、ポータルサイトでの幅広い情報発信とともに、地域での女性や若者の定着を含めた少子化対策を改めて強く申し上げさせていただいて質問を終わります。</p>	<p>民の方々を対象としたパブリックコメントをはじめ、道議会やほっかいどう子育て応援共同宣言に参加をしております経済団体など、より多くの方々からご意見を伺う機会を設けることとしており、こうした場面を通じて得られた貴重なご意見やご提言をしっかりと計画に反映をしてみたいと考えております。</p> <p>【保健福祉部長】 第三期計画の策定に向けた今後の対応についてでございますが、少子化は、人口減少や過疎化など、経済や地域社会の活力の低下などに直結する深刻な問題であり、その対策にあたりましては、保健・医療・福祉にとどまらず、様々な分野の取組を総動員して取り組む必要があると認識をいたしております。</p> <p>このため、第三期計画の策定にあたりましては、これまで、経済や雇用、地域振興など、少子化に関連する全ての分野の対策を網羅した総合的な計画内容となるよう、全庁を挙げて検討を進めてきたところでありまして、また、結婚から妊娠・出産、子育てなどのライフステージ毎に各般の施策や目標事業量などを体系化した内容に改めるなど、道民の方々にわかりやすい計画づくりに努めてまいりました。</p> <p>道といたしましては、今後、素案をもとに、幅広い分野の方々から広くご意見を伺い、その反映に努めながら、本道における少子化の改善に向けまして、道民の皆様方をはじめ、様々な分野の方々のご理解とご協力が得られる計画となるよう、最大限努力をしてみたいと考えております。</p>